

研究課題(テーマ)	富山県内企業とロボット関連企業をまとめてリサーチ ネットワーク情報を活用したキャリア形成		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能ロボット工学科	教授	神谷和秀
研究結果の概要			
<p>学部1年から3年生に対して、富山県内企業の認知度を高め、すでに富山県機電工業会と連携して実施している「知能ロボット工学特別講義2(選択科目・学部3年生対象)」の受講増につなげ、富山県内定着率の向上を目指した。また、学科名称に「ロボット」を冠していることから、学部生および院生に対して、ロボットに関連する企業について考える機会を提供した。本年度も新型コロナウイルス感染症の感染再拡大を防ぐため、Webに公開された情報を活用し、12のオンライン展示会、その他5つのオンライン情報を学生に提供した。</p> <p>展示会として、画像センシング展2022、日本ものづくりワールド、Interop Tokyo 2022、第1回マテハン・物流機器開発展(KANSAI MATEX 2022)、関西ものづくりワールド、ITmedia Virtual EXPO 2022 秋、ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022、SENSOR EXPO JAPAN 2022(センサエキスポジャパン)、JIMTOF2022(第31回日本国際工作機械見本市)、メッセナゴヤ2022、第7回ロボデックス ロボット開発・活用展、ITmedia Virtual EXPO 2023 春を学生に紹介することで、コロナ禍においても安全に、かつ、効率よく学生が企業の情報に触れることができた。一方で、富山県内企業が多数出展するオンラインイベントは限られていたことから、県内企業の認知度については、ある程度高めることが出来るにとどまった。</p>			
今後の展開			
<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更にともない、オンラインでの情報提供から、展示会への対面参加への誘導を行い、展示会を活用したキャリア形成に関する取り組みを継続的に行うことで学生の学習意欲を高め、「知能ロボット工学特別講義2」の受講者増につなげ、富山県内定着率の向上を目指す。</p>			

(様式1)【ホームページ掲載用】

--